



平成 30 年 3 月 13 日

各 位

会 社 名 サンバイオ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 森 敬太  
(コード番号：4592 東証マザーズ)  
問 い 合 わ せ 先 執行役員経営管理部長 角谷 芳広  
( T E L . 0 3 - 6 2 6 4 - 3 4 8 1 )

## 平成 30 年 1 月期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月 17 日に公表しました平成 30 年 1 月期(平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日)の連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想との差異  
平成 30 年 1 月期連結業績予想と実績値との差異(平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日)

	事業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純損失	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 29 年 3 月 17 日発表)	百万円 662	百万円 △3,945	百万円 △3,957	百万円 △3,982	円 銭 △87.82
実 績 値(B)	490	△4,378	△3,947	△3,940	△86.85
増 減 額(B)-(A)	△172	△433	10	42	
増 減 率(%)	△26.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 1 月期)	949	△1,932	△2,166	△1,835	△40.88

2. 差異の理由

当社が米国で行っている慢性期脳梗塞を対象とした臨床試験については大日本住友製薬株式会社との共同開発契約に基づき実施しており、当期においては、慢性期脳梗塞フェーズ 2b 臨床試験が計画より 3 カ月前倒しで組み入れが完了しましたが、当期に計上を見込んでいた共同開発に係る開発協力金収入の一部は、翌期の計上見込みとなったため、開発協力金収入は計画値を下回り、事業収益は予想と実績に差異が生じました。各利益については、上述のとおり、米国における慢性期脳梗塞フェーズ 2b 臨床試験及び日米で実施している外傷性脳損傷フェーズ 2 臨床試験が順調に進捗したことから、臨床開発費用が予想値を上回り営業損失は拡大しました。一方で、米国において慢性期脳梗塞フェーズ 2b 試験に対し、カリフォルニア州再生医療機構から補助金を獲得したことにより、その一部を営業外収益として計上したことにより、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失はほぼ計画通りの着地となりました。

以上